外国語科（英語）学習指導案

日　時　令和７年 11 月 28 日（金）
５校時　13:30～14:20
学校名
対　象　第　２　学　年　　組
少人数指導　名
会　場　２　年　　組　　教　室
授業者

１　単元名

Lesson 7　“Gifts from China”　*NEW CROWN English Series 2*　（三省堂）

２　単元の目標

ALT の先生や海外の中学生に向け、日本の良さや興味を広めることができる日本らしいお土産を提案するために、選んだものの特徴や理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

３　単元の評価規準（「書くこと」の評価規準）

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　現在完了形（経験用法）を用いた文の特徴やきまりを理解している。 ②　選んだ日本らしいお土産について、授業で学んだことを基に、簡単な語句や文を用いて、書く技能を身に付けている。	ALT の先生や海外の中学生に向け、日本の良さや興味を広めることができる日本らしいお土産を提案するために、選んだものの特徴や理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	ALT の先生や海外の中学生に向け、日本の良さや興味を広めることができる日本らしいお土産を提案するために、選んだものの特徴や理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）　第２章　第９節　外国語　第２　英語　１　目標　⑸　書くこと

> イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

同２　内容　〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項　エ　文、文構造及び文法事項

(ｲ)　文構造
　c　［主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語］のうち、
　(c)　主語＋動詞＋間接目的語＋that で始まる節
(ｳ)　文法事項
　e　動詞の時制及び相など
　　現在完了形

同２　内容　〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ウ　日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

同２　内容　〔思考力、判断力、表現力等〕　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項
カ　書くこと
(ｳ)　日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

を受けて、単元の最終段階に、選んだものの特徴を説明し、理由や自分の考えなどを整理し、ALT や日本に関わった海外の中学生に向けて、彼らが感じた日本の良さや興味に寄り添ったお土産を提案し、海外に広めることができるように、ポスターを書くことができるようにする。

⑵　生徒観

２学級３展開で少人数授業を行っている。習熟度や英語に対する興味等はそれぞれ異なっているが、授業におけるコミュニケーション活動や個人作業など、授業には積極的に取り組む生徒が多い。そのため、教員の英語による問い掛けや英語での対話活動に対して消極的な反応を示す生徒はほとんどいない。一方で、英語を理解できず、理解が遅かったり間違っている英語で会話を続けたりしてしまうことが課題である。生徒同士は親和性が高く、一緒に活動をする生徒が変わっても消極的になることは少ないので、視野を広げながら、円滑に授業に参加することができる。また生徒は個人での活動よりもグループやペアで考えや内容理解を深める活動を好む傾向がある。

書くことに関しては１学期におすすめの本を紹介するポスターを作成した。そこでは毎回の授業で英文作成を行い、本の紹介文、あらすじ、その本のおすすめポイント、どんな時に読んでほしいか等について例文を参考に、個人活動を中心に英文を作成した。しかし、英語が苦手な生徒はうまく進められないという課題があった。そのため、９月に行った書く活動では協働的な場面を多く設けた。日本で起こっている環境問題や社会問題について、問題の現状や解決策、考えたこと等をレポートにまとめることを目標とし、読み合うことで自身のレポートを改善するようにした。それにより、全体的に質の高いレポートを書くことができた。一方で、ICT 機器に頼りすぎてしまったり、単元の目標を広げすぎたことで読み手を意識したレポートを作成できなかったりしたことが課題として挙げられる。従って、今回の単元では協働的な場面を多く設定しつつ、単語の使用方法を辞書の例文で確認したり選んだお土産の情報を調べることだけに使用したりする等、ICT 機器を効果的に使用し、読み手を意識して書くことができる生徒を育成するように指導を行う。

⑶　教材観

本単元は、登場人物たちが中国の飾りや工芸茶について学んでいる場面である。単元を通じ、中国の伝統的なものについて学び、単元のゴールでは日本のお土産について紹介するという構成になっている。生徒は、毎授業、中国の伝統的なものについて登場人物たちの会話から学び、授業の後半では、自分が選んだ日本らしいお土産について、知らない人でも理解することができるように分かりやすく説明したり、選んだ理由や自分の考え等を説明して書いたりするために、自分で調べたり、互いに読み合いアドバイスをしたりする活動を行う。その際、ALT や前単元で扱ったシンガポールやイギリス、オーストラリア等の日本に興味がある人が、自分が感じた日本の魅力や興味を広めることができるようなお土産を選び、教えてあげるようにし、読み手を意識した指導を行う。また毎時間の授業で、少しずつ紹介文を作成し、互いにアドバイスをすることで表現する内容を増やす指導を行う。そうすることで英語が苦手な生徒も書いてみようという意欲を高めさせるとともに、表現の仕方や内容で含めるべきこと等、現在の自分の課題を明らかにすることができると考える。この単元を通して、以下のような内容を書けるようにしたい。なお、「a」評価の例は以下の英文が考えられる。

（例）　I recommend a *furoshiki* because you like useful things for everyday life. It is a traditional Japanese wrapping cloth. <u>You have not seen a cloth like this.</u> A furoshiki is useful, pretty, and eco-friendly. You use it to wrap and carry things like bottles, boxes, or even watermelons. I often use it when I carry my lunch box or small gifts. It's very convenient and looks nice. Each furoshiki has many colors and patterns. You can find one you like. A furoshiki is a wonderful souvenir for you.

＊ 下線部は本単元の言語材料を示している。

評価基準として、以下のように設定した。「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の３つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件１：　日本らしいお土産に関して、特徴が明確にわかるように説明している。
条件２：　読み手の興味や関心を意識して選んだと分かる内容が含まれている。
条件３：　選んだお土産の具体的な使い方や便利さ、良さ等を例とともに示している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	自分が使用した経験やより魅力が伝わる内容を含めながら、３つの条件を満たして英文を書いている。	自分が使用した経験やより魅力が伝わる内容を含めながら、３つの条件を満たして英文を書こうとしている。
b	誤りが一部あるが、内容理解に支障のない程度の英文で書くことができる。	３つの条件を満たして英文を書いている。	３つの条件を満たして英文を書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

５　年間指導計画における位置づけ

学期	単元名	学習内容・評価規準		領域
1学期	Lesson 1 Meet New Friends	学校生活や行事を紹介しよう	新しく来たALTに、昨年度経験した学校生活や行事を紹介することができる。	話すこと［発表］
	Lesson 2 Fun with Books	おすすめの本を紹介しよう	自分のおすすめについて、どのような時に読んでほしいかを含めて、ポスターにまとめることができる。	書くこと
	Lesson 3 My Dream	働くことに関する記事を読もう	働くことに関する記事を読み、概要を捉えることができる。	読むこと
	Project 1 My Dream	夢についてスピーチをしよう	将来の夢について、理由や叶えるためにすること等を発表することができる。	話すこと［発表］
2学期	Lesson 4 Safe Clean Water	環境問題や社会問題を紹介しよう	自分の関心がある環境問題や社会問題について、現状や解決策を含めて、レポートにまとめることができる。	書くこと
	Lesson 5 Visiting Australia	自分の町にあるおすすめの場所を紹介しよう	自分が住んでいる町でおすすめの場所やイベントなどをについて紹介することができる。	話すこと［やり取り］
	Lesson 6 Friends from Singapore	日本での思い出に関するメールを読もう	日本での思い出について書かれたメールを読み、要点を捉えることができる。	読むこと
	Project 2 Popularity survey	人気のあるものについて紹介しよう	クラスで人気のあるものを調査し、英語で発表することができる。	話すこと［発表］
3学期	Lesson 7 Gifts from China	おすすめのお土産を紹介しよう	ALTや海外に住む日本に興味がある人に対して、自分が選んだ日本らしいお土産を勧めることができる。	書くこと
	Lesson 8 Rakugo Goes Overseas	落語に関するインタビュー記事を読もう	落語に関する記事を読み、要点を捉えることができる。	読むこと
	Project 3 Favorites × Guide map	紹介したいものに関するマップを作ろう	自分が興味のあるテーマを決め、紹介したいものに関してマップにまとめることができる。	書くこと

＊　「聞くこと」に関してはTake Action Listen 1~5、「読むこと」に関してはReading for Fun 1~3、「話すこと［やり取り］」に関してはTake Action Talk 1~4でも扱う。

６　単元の指導計画と評価計画（全９時間）

時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準 （評価方法）
第1時	・　現在完了形（経験用法）の文の特徴やきまりを理解することができる。	○　文法解説 ・　文法の解説を聞く。 ・　練習問題に取り組む。 ○　コミュニケーション活動 ・　自分が経験したことがある日本らしい体験をペアで説明する。	ア①(ワークシートによる形成的評価)
第2時	・　単元の目標を理解する。 ・　お勧めしたいお土産を紹介する英文を書いてみる。 ・　Part 1 の Scene 1 の内容を理解する。	○　単元の導入 ・　海外に行くとしたらお土産で何を持って行くかペアでやり取りを行う。 ○　単元の目標・ルーブリックの確認 ・　単元の学習を通じて、日本の魅力を伝えることができるお土産を紹介するポスターを作成することができるようになることを確認する。 ・　パフォーマンステストのルーブリックを確認する。 ・　英文作成に挑戦する。 ○　内容理解（p. 88） ・　ジンと陸が中国の飾りについて話していることを理解し、動画から得た情報をペアで確認する。 ・　内容に関する簡単な発問に答え、理解を深める。 ・　単語練習を行う。	ア①（ワークシートによる形成的評価） ウ（観察、ワークシートへの記述による形成的評価）
第3時	・　Part 1 の Scene 2 の内容を理解する。 ・　ALT や外国人が感じた日本の良さや興味を理解し、適したお土産を選び、特徴を紹介する英文を作成することができる。	○　内容理解（p. 89） ・　ジンが中国の伝統品について説明していることを理解し、動画を視聴した後、どのようなことを話していたのかペアで確認する。 ・　内容に関する簡単な発問に答え、理解を深める。 ・　単語練習や音読練習を行う。 ○　単元のゴール（パフォーマンス）に向けた活動 ・　ALT や海外に住む外国人が感じた日本の良さや興味が書かれた表を見て、ペアで内容を理解する。 ・　表を参考に、適した日本らしいお土産を選び、特徴を説明する英文を２～３文で書く。	ア①（ワークシートによる形成的評価） ウ（観察、ワークシートへの記述による形成的評価）
第4時（本時）	・　Part 2 の Scene 1 の内容を理解する。 ・　選んだお土産の特徴を説明する英文を読み合	○　内容理解（p. 90） ・　ジンとディヌーが中国の工芸茶について話していることを理解し、動画から得た情報をペアで確認する。 ・　内容に関する簡単な発問に答え、理解を深める。 ・　単語練習を行う。 ○　単元のゴール（パフォーマンス）に向けた活動	ア①（ワークシートによる形成的評価） ウ（観察、ワークシー

	い、アドバイスを基に再構築できる。	・　前時に作成した２～３文の英文を、グループ内で見せ合い、特徴から選んだお土産と理解ができるのかを確認し、お互いにアドバイスを行う。 ・　アドバイスを参考に、作成した英文を書き直す。 ・　再度読み合い、改善できているのか確認する。	トへの記述による形成的評価）
第６時	・　Part 2 の Scene 2 の内容を理解する。 ・　選んだお土産をより理解できるような説明文を加えることができる。	○　内容理解（p. 91） ・　工芸茶を見て会話していることを理解し、動画を視聴した後、どのようなことを話していたのかペアで確認する。 ・　内容に関する簡単な発問に答え、理解を深める。 ・　単語練習や音読練習を行う。 ○　単元のゴール（パフォーマンス）に向けた活動 ・　選んだお土産について、より具体的な使い方や便利さ、良さ等が伝わるような英文を書く。 ・　グループで読み合い、アドバイスし、再構成する。	ア①（ワークシートによる形成的評価） ウ（観察、ワークシートへの記述による形成的評価）
第７時	・　Part 3 の内容を理解する。 ・　選んだお土産について、読み手を意識した文章になるように、再構成することができる。	○　内容理解（p. 92） ・　ディヌーとディヌーのお母さんが剪紙について会話していることを理解し、動画を視聴した後、どのようなことを話していたのかペアで確認する。 ・　内容に関する簡単な発問に答え、理解を深める。 ・　単語練習や音読練習を行う。 ○　単元のゴール（パフォーマンス）に向けた活動 ・　勧めようとしている人の需要に合っているのかという視点で、グループで読み合い、アドバイスをする。 ・　アドバイスを参考にし、自分の経験も含め、再構成する。	ア①(ワークシートによる形成的評価) ウ（観察、ワークシートへの記述による形成的評価）
第８時	・　自分が書いた説明文について英語で説明することができる。 ・　選んだお土産について、評価基準を確認し、再構成することができる。	○　会話活動 ・　自分が選んだお土産について、作成した英文を読まず、ペアに伝える。 ・　相手の説明で疑問に思ったことを質問する。 ○　単元のゴール（パフォーマンス）に向けた活動 ・　会話活動で質問されたことや評価基準を再度確認し、英文を再構成する。 ・　グループで評価基準を確認しながら、アドバイスを行い、再構成する。	ウ（観察、ワークシートへの記述による形成的評価）
第９時	選んだお土産のポスターを完成することができる。	○　ポスター作成 ・　今まで学習したことを基に、英文、ポスターを完成させる。	ア②、イ、ウ（レポート）

7　指導に当たって

ア　ALT や前時で学んだ来日していた外国人が感じた日本の魅力や興味をもっていることを理解し、そのことを自国に広められるようなお土産を選ぶようにする。それにより、読み手を意識したり、

どのようなことを勧めたら需要に答えることができるのか等を考えたりすることができる。また、自分の意見や考えを含めるために、過去の経験を巡らしたり、どのように表現したら相手に伝わるか等を考えたりすることで、「主体的な学び」につなげる。

イ　自分が選んだお土産について、初めて紹介文を読んだ人にも特徴が明確に理解できる英文を書くように指導する。そのために、お土産の名前を伝えずに読み合うことで理解できるのか確認したり、分からなかったことを質問したり、分かりにくい表現を指摘し合ったりする機会を多く設け、「対話的な学び」を促す。

ウ　書き直した英文をその都度見せ合うことで、どのような情報が足りないのか、表現の中で分かりにくいところはあるのかなど、アドバイスを客観的にもらうことで、自分の英文をどのように改善するべきか、考える機会が増えるように指導し、「深い学び」につなげる。

エ　単元の内容に一貫性をもたせることに指導の重点を置き、毎回の授業で、中国や日本の伝統的なお土産についての内容を取り上げ、そのことについて英文を書き、再構成する活動を取り入れた。加えて、読み手を意識した活動や選んだお土産の魅力を伝えたいと思えるような工夫を授業で行い、生徒が主体的に学びたいと思うことができる指導を心掛ける。

8　本時（全９時間中の第４時）

⑴　本時の目標

- Part 2 の Scene 1 の内容を理解する。
- 選んだお土産の特徴を説明する英文を読み合い、アドバイスを基に再構築できる。

⑵　本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項・配慮事項	評価規準 （評価方法）
導入 （5分）	○　挨拶 ○　本時の目標確認 ・　目標決め	・　全体の目標を確認する。 ・　本時の自分の目標を決めることにより、主体的な活動を促す。	
	単元の目標：ALT の先生や日本での旅行から帰国した海外の中学生に向け、日本の良さや興味を広めることができるように、日本らしいお土産についてポスターを作成することができる。		
	本時の目標：・　Part 2 の Scene 1 の内容を理解する。 ・　選んだお土産の特徴を説明する英文を読み合い、アドバイスを基に再構築できる。		
	・　日本の伝統品に関する会話活動	・　ペアになり、相手におすすめしたい日本の伝統品について紹介し合う。	ア①　現在完了形（経験用法）を用いた文の特徴やきまりを理解している。（ワー
展開 （42分）	○　Part 2 の Scene 2 の内容理解 ・　ジンとディヌーの	・　中国の工芸茶の写真を見せ、どのようなものか	

	会話理解 ○　パフォーマンステストへ向けた活動 ・　お土産クイズ ・　英文の書き直し ・　英文の確認	ペアで話す活動を通して理解できるようにする。 ・　ジンとディヌーが会話している動画を見て、どのようなことを話していたのかペアで確認できるようにする。 ・　教員が内容に関する質問を行い、答える活動を通して理解の定着を図る。 ・　新出単語の確認をする。 ・　前時に作成した英文を新しいワークシートに書き写し、その際、お土産の名前を it で書くこととする。 ・　グループになり、ワークシートを見せ合い、その物を予想し意見交流をする。 ・　ワークシートが返されたら、その物が理解できる英文であったのか確認し、どこが分かりにくかったのかをグループ内で話し合いをする。 ・　アドバイスを参考に、より特徴が伝わるような英文に書き直すよう指導する。 ・　特に書き直す必要がない場合は、より魅力が伝わるような英文作成を行うよう指導する。 ・　机間指導を行い、支援が必要な生徒には個別に指導をする。 ・　再度読み合い、改善できているのか確認するよう促す。	クシート) ウ　ALT の先生や海外の中学生に向け、彼らが感じた日本の良さや興味を広めることができるように、日本らしいお土産を提案するために、選んだものの特徴を説明し、理由や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。(観察、ワークシート)
まとめ (3分)	○　振り返り ○　挨拶	・　振り返りシートに今日の成果を記入し、最後にアドバイスされたことを書き留めておく。	

⑶　板書計画

【単元の目標】	【情報共有】
【本時の目標】	(生徒が書いた文章から出てきた特徴や参考になる英文等を記入する。)

⑷　授業観察の視点

ア　生徒は、英文共有の場面で、英文を改善できるようなアドバイスをし合えていたか。

イ　生徒は、アドバイスを基に英文の再構成を行えており、その物の特徴を明確に表現できるようになっていたか。

ウ　生徒は、２度目の確認後、自身の英文の課題を理解し、次時の目標を明確にできていたか。